

施設名:上柚木公園

No.	期末モニタリング項目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	10月～12月					1月～3月								
					指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン	所管課確認		指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン	所管課確認	
					評価区分	コメント	評価区分	コメント		改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	対応	評価区分		コメント	改善・指摘事項の有無
1			安全安心・危機管理	個人情報の保護管理 ・有料運動施設の利用者の情報管理は、適切に行われているか ・要望苦情者の記録保存は適正か	B	・内部文書は情報公開請求があった場合個人情報については除外する旨を整理し保存している。 ・窓口や電話での利用者対応や勤務時間外での会話で個人情報に触れることがないよう職員に徹底している。 【継続事項】 ・ふれあい財団は東京都の厳しい審査を経て24年4月1日公益財団法人として認可された。都の指導により特に個人情報の保護については定款から定めるよう指導を受けている重要な責務である。このため財団規程集の中で詳細を規定しそれにに基づき実務を行っている。 ・有料運動施設の登録者情報はファイルに整理し別室に施錠して管理しており、利用者情報の運動施設間でのやり取りはしないことや更新手続きにおいても本人確認のため免許証等身分を証明するものを提示したうえでその手続を徹底し、第2四半期の点検で判定となった複合遊具のトンネル部は上からの負荷でひびが入ったところを強力接着剤で補修したうえで下部の同じサイズのトンネルと入れ替えを行った。また吊シーソーの着地点のラバーマットを基礎から交換した。なお、上柚木地区スプリング遊具3つのうちひとつであるカミはスプリングの錆による劣化が進んでいるため、基礎ごと撤去した。 【継続事項】 ・日常点検については(社)日本公園施設業協会による「遊具の日常点検講習会」を受講した職員が遊具日常点検票をもとにひとつひとつに遊具を目視・触診・揺らし等により点検項目毎に実施した。	B	引き続き適正に管理すること。	無		A	・情報公開に備え文書は個人情報については非公開とする旨を整理し保存している。また窓口対応や勤務時間外で個人情報に触れることがないよう職員に徹底している。 ・公益財団法人として個人情報の保護については規程を定めそれにに基づき実務を行っている。 ・有料運動施設の登録者情報はファイルに整理し別室に施錠して管理しており、利用者情報の運動施設間でのやり取りはしないことや登録更新手続きにおいても本人確認を徹底している。 ・年度末施設の予約システム導入には窓口サイド、利用者サイドの両面から異常や問題がないか積極的にチェックを行い所管と連携を図った。	B	引き続き適正に管理すること。	無			
2			安全安心・危機管理	遊具の点検 ・年1回の専門点検は行ったのか。まだ行っていないとすれば、いつ、どのように計画し、事務を進めているのか ・日常の点検はマニュアルなどを作成して実施しているか ・日常点検に関して、全体として計画した体制が確保できているか ・点検の結果を迅速かつ適切に集約しているか ・点検の結果、改善や修繕を要するものへの対応は、迅速・適切か	A	10月13日郷戸地区の女子トイレにつまり発生し即時使用中止とした。建物外側の汚水管内で樹木根の侵入が原因とわかり、根ごと切断除去し回復した。 11月30日ソフトボール場前の水道メーターの動きより漏水らしきことを確認。給水管の各止水弁を閉鎖しながら追跡しソフトボール場北から芝生の丘トイレの間に絞り込む。翌日その間で土が濡れているところを発見し、修理に至った。 12月4日芝生の丘トイレ外壁と欄干などにくら書きを発見。上柚木中と青少年対へ注意喚起を依頼。また南大沢警察への報告を行ったところ、南大沢母の会によるらく書き落としのボランティアをお願いできることとなり12月16日私どもも加え総勢約20名	B	専門点検結果に基づき適正に対応している。日常点検を四半期に3回、巡回目視点検を毎日実施している。	無		A	・3月、健康広場は広場の砂が雨で流出し凸凹が多くなってきたため土留めや砂の補充転圧塩カル散布などを行い整地を行った。また、郷戸地区児童遊園は遊具の基礎とダスト舗装のGLに段差が若干みられるため、砂の補充を行った。 ・3月、上柚木地区砂場はに砂の入れ替えを実施。 ・3月、池からせせらぎへの出口付近より水が地下に漏れているのを発見。池そのものに支障はないが新年度で改修する。 ・日常点検については(社)日本公園施設業協会による「遊具の日常点検講習会」を受講した職員が遊具日常点検票をもとにひとつひとつに遊具を目視・触診・揺らし等により点検項目毎に実施した。 ・日常点検の結果は点検票および登録簿口頭にて報告され、毎	B	砂入れ・整地などが実施された。日常点検を四半期に2回、巡回目視点検を毎日実施している。	無			
3			安全安心・危機管理	トイレの管理 ・計画通りに実施されているか。きれいに清掃できているか ・いたずら書きや不正使用などに対する対応は迅速・適切か ・結り等で、使用不可になった場合の対応と、使用可能に至るまでの経緯及び、要する時間	A	10月13日郷戸地区の女子トイレにつまり発生し即時使用中止とした。建物外側の汚水管内で樹木根の侵入が原因とわかり、根ごと切断除去し回復した。 11月30日ソフトボール場前の水道メーターの動きより漏水らしきことを確認。給水管の各止水弁を閉鎖しながら追跡しソフトボール場北から芝生の丘トイレの間に絞り込む。翌日その間で土が濡れているところを発見し、修理に至った。 12月4日芝生の丘トイレ外壁と欄干などにくら書きを発見。上柚木中と青少年対へ注意喚起を依頼。また南大沢警察への報告を行ったところ、南大沢母の会によるらく書き落としのボランティアをお願いできることとなり12月16日私どもも加え総勢約20名	A	引き続き適正に管理すること。	無		A	・1月1日からトイレ清掃は開始。日々清潔な状態を維持していることがいづら禁止になっており市民が気持ちよく利用できる安心安全な環境を維持している。 ・1月4日ソフトボール場前の水道メーターを点検した結果、パイロットメーターに微妙な動きを確認。調査を行い、芝生の丘トイレのタンクに微量の水漏れを発見し直営で修理した。	A	適正な管理であった。	無			
4			安全安心・危機管理	運動施設管理 ・施設の実態と課題を的確に把握しているか ・課題を集約して事業運営に生かしているか ・緊急な課題は市にその都度協議しているか ・野球場外野の草刈、内野・外野の不陸整正は実施しているか ・野球場のポイント設置及びベースの取替は実施しているか	A	テニスコートは利用率が高く、落ち葉掃きが間に合わないような状況を改善するため、コート専用フロアを購入、加えて各コートに落ち葉入れ用のポリ容器を置き、短時間で清掃できるよう工夫し落ち葉での転倒防止に努めた。 陸上競技場は10月2日の女子サッカー準決勝が行われ10か所の会場の中で最もコンディションの良いと評価を受けた。その後のラグビーなども想定し団体後もエアーレーションと施肥を行い、10月末まで芝刈を実施した。雨天開催後のテントやマットの天日干しも適宜行っている。 野球場は前期指摘を受けたベースの浮きなどがないように注意を払い整備を行った。また、12月12日には後半の利用者ができるだけ使えるよう内野を中心に塩カル散布を行い霜によるグラウンド不良を抑える取組みを行った。	B	・運動施設の日常点検及び定期整備については、引き続き実施してください。 ・団体開催による協力・対応は感謝するとともに評価します。	無		A	・ソフトボール場、野球場については安全第一を考慮し埋め込みのファウルラインを撤去、特に野球場はライン両サイドの芝生を新たに補植した。また両場ともグラウンドの掘り直し整備を3月警備科を待って実施、ポイント設置やベースの取替えも合わせて行った。 ・陸上競技場は各種消耗品を補充した。40cm近く積雪は放置したままでは溶雪しないためウレタン舗装を傷めないよう人や軽自動車による雪踏みなどを行い早期開放に努めた。 ・テニスコートは2回の大雪に2週間にわたり連日雪かきを実施したが、特に2回目は雪が重くはかどらないため、ショベルローダーを導入し早期開放に努めた。	B	・運動施設の日常点検及び定期整備については、引き続き実施してください。 ・予想外の積雪により、施設を早急に開放する努力は評価する。 ・利用者の安全を考慮した埋め込み式ファウルラインの撤去、芝生の補植をしたことを評価する。	無			
5			安全安心・危機管理	施設修繕 ・市の指示事項に沿った事務処理が行われているか ・緊急性や重要度を考慮して実施しているか ・効率的な執行がなされているか	A	上柚木地区西側の歩道境界にあるコンクリートブロック擁壁のつなぎ目周辺の化粧ブロックが経年劣化で崩れる恐れがあることがわかり、すぐ叩いて落とせるところは落とし、コンとコンバーで擁壁近くを通らないようにし、浮いているところを含めて補修を発注した。 テニスコートのうち6面は市により改修されたが残りEFの2面についても危険な状態となっていることから指定管理者の修繕限度を越える額を了解いただき10月15日までの工期で部分改修を実施、コート面の安全を確保した。 走り高跳び上面用マットも公式備品であるが中身が経年劣化で腹食がすすみ形がくずれているため中身のウレタンのみを購入し直営で入替を行った。	B	引き続き適正に管理すること。	無		A	おもな修繕 ・陸上競技場の側溝ふたの痛みが多く交換を実施した。ウレタン舗装用の特殊品であり80枚を取り換えたが曲線部などは直営でカット加工し現地の寸法に合わせたほか、ハードル、スタブ、よりの修繕を基準に削り実施した。 ・消火器は使用期限が迫っているものについて陸上31本野球場1本を交換した。 ・陸上競技場の室内照明の蛍光灯安定器が不良となるものが多く放送室・事務室についてLED照明に切り替えた。	B	適正な管理であった。	無			
6			効果効率的な施設の管理運営	人員配置・研修体制 ・事業運営を計画に沿った体制で実施しているか。計画通りの人員スタッフが確保されているか ・計画通りでないとしたら、市と事前の協議はしているのか ・執行体制に工夫はみられるか ・スタッフ研修は充実しているか	A	スタッフの研修として交通安全研修・著作権研修・障害者に対する理解研修を行ったほか、財団として衛生委員会を開催し職場の安全衛生について検証した。また、自衛消防訓練をテニスコート職員も含めて実施した。 【継続事項】 ・人員配置は計画通りに行われ、管理責任者を中心に総務、事業、施設の各分野にチームを配置し、さらに整備スタッフ、清掃スタッフ、テニススタッフ、事務補助の各スタッフを臨時職員にて確保し、効率的に事業運営を行っている。 ・施設の利用状況に合わせて無駄のないシフトを工夫すると同時に、大会運営に伴い朝は7時30分から、夕刻は6時30分までなど柔軟な出勤にも対応しており、大会や事業を行うためチーム・業務員とも勤務を厚くしている。 ・清掃や草刈り、小破修繕など直営で実施できる作業を拡大するためシフトを工夫し実行することができた。	A	効果効率的な執行体制が計画通りに実施されている。	無		B	スタッフの研修として全国主要スタジアム情報交流会への参加、メンタルヘルス研修、サービス助士講習及び資格取得、会計研修を行った。 【継続事項】 ・人員配置は計画通りに行われ、管理責任者を中心に総務、事業、施設の各分野にチームを配置し、さらに整備スタッフ、清掃スタッフ、テニススタッフ、事務補助の各スタッフを確保し、効率的に事業運営を行っている。 ・施設の利用状況に合わせて無駄のないシフトを工夫、大会運営時は朝7時30分から、夕刻6時30分までなど柔軟な出勤で対応した。 ・清掃や草刈り、小破修繕など直営で実施できる作業を拡大するためシフトを工夫し実行することができた。	A	効果効率的な執行体制が計画通りに実施されている。	無			
7			安全安心・危機管理	園路広場の草刈り(緑地を含む) ・延べ作業面積・回数はクリアできているか ・利用実態に合った維持管理ができているか ・作業方法に工夫はみられるか ・現地の実態はきれいか(任意抽出)	A	公園区域外の周辺道路などの落ち葉清掃や泥あげなども行い、地域に配慮した。またテニスコートの落ち葉清掃用にフロアを購入し、公園清掃にも使用し効率を上げた。 【継続事項】 ・四半期報告書のとおり作業面積・回数は計画通り実施した。 ・健康広場・上柚木児童遊園や北側のゲートボール場跡周辺や臨時第1駐車場と野球場へ上がる園路は直営で作業を実施した。	A	現地の実態は良好である。引き続き適正に管理すること。	無		B	主な特記事項 ・園路の落葉清掃は1月まで引き続き実施。2月は階段や園路の除雪を中心に行い、利用者や通過者の通路を確保した。 ・2月、柏原橋から神子沢橋の擁壁フェンスに絡むクズなどの藁を除去した。 ・郷戸地区池周辺に越境してきた竹が植栽環境を変える恐れがあるため、1月伐採作業を実施した。	A	現地の実態は良好である。大雪の際に適切に除雪が行われた。	無			
8			効果効率的な施設の管理運営	第三者委託 ・市との事前の協議など、協定書通りの執行がなされているか ・第三者委託の事業水準は適正か ・経費削減の取り組みや工夫はみられるか	B	【継続事項】 ・第三者委託は、基本協定書第19条に基づき、協議により市の承諾を得ている。 ・委託作業については作業打合せ、作業立会い、報告書等により適正であることを確認している。 ・緑の管理委託では、複数年契約による契約金額の削減を図ることができ、またその柔軟性を活かし、現状において最も必要な作業を優先し効率的な取り組みを行っている。なお作業	B	適正に執行されている。	無		A	・経費の有効活用への取組みとして新年度電力契約にPPS導入を検討。調査、業者選定等を行い、3月契約を内定した。 ・新年度契約に向け、見積業者に新たな業者を入れ競争を活性化した。 【継続事項】 ・第三者委託は、基本協定書第19条に基づき、協議により市の承諾を得ている。 ・委託作業については作業打合せ、作業立会い、報告書等により適正であることを確認している。	B	適正に執行された。	無			
9			環境配慮	どのような公園資源有効活用事業を行っているか	A	12月ミニ門松教室の実施、およびいちょうホール正面玄関に供える門松の材料として、上柚木公園の間伐竹を活用した。テニス教室で昨年使用したボールを処分するものがあり、清掃活動で貢献しているターゲットバードゴルフ協会に活用してもらいゴミを削減した。	A	資源有効活用について様々な工夫がなされている。	無		A	・地域の子供や若者に対して参加し、園内で発生した竹の間伐材をどんと焼きに提供した。 ・テニス教室で使うボールで2年を過ぎたものを、アドプト団体であるターゲットバードゴルフ協会のエアポイントとして、また地元中学校のテニス部の球出し練習用として提供し、ゴミの削減に努めた。	A	資源有効活用について様々な工夫がなされている。	無			
10			環境配慮	LAS-EIに沿った事業運営が行われているか	A	【継続】 ・10/21環境政策課と園内の枯損木や倒木処理材についてボカボカ足湯の燃料として提供できるか現地打合せを行った。 ・12/19陸上競技場放送室および事務所の蛍光灯安定器の故障に代わり最新のLED導入について開発業者と調整。 ・竹の間伐を実施し、どんと焼用とミニ門松教室用とした。 【継続事項】 ・裏紙のリサイクル、および両面印刷の実施。 ・刈草・枯れ枝の園内雑木林への堆積処理の実施。	B	引き続き適正に管理すること。	無		A	【継続】 ・ボカボカ足湯への倒木処理材の一部を長池公園のストックヤードに搬入する対象樹を決定した。 ・陸上競技場の放送室と事務室、ならびに芝生の丘トイレについて蛍光灯が安定器不良となったためLEDに変更改修した結果対象施設比較で電力量約45%削減となった。 【継続事項】 ・裏紙のリサイクル、および両面印刷の実施。 ・エコキャップ運動に積極的に参加。	B	適正に事業運営が行われた。	無			

No.	期末モニタリング項目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容・指標	10月～12月						1月～3月									
					指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認	
					評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の要否	時期	内容	対応状況	次年度対応	評価区分	コメント	改善・指摘事項の要否	時期	内容	対応状況	次年度対応
11			サービス向上・利用者増	要望苦情の処理 ・件数や傾向の推移＝年度別、時期毎 ・特に多い要望や苦情に対して、適切な対応を工夫しているのか ・特に要望や苦情が多い公園の対応は適切か ・迅速性、公正公平性が確保され、適切に処理されているか ・個人情報の扱いは適切か	A ・運動施設に意見箱を設置し今期ご意見が寄せられ、管理者として気づかされることも利用者とのコミュニケーションを図ることができた。回答については園内掲示板に掲載した。 ・ホームページからのお問合せフォームは第4四半期に改修とともに貼り付けを行う。 ・10/14高校野球秋季戦の応援やめさせると匿名クレームあり、これまでの経緯で太鼓は禁止にさせていただいていることなどの説明を丁寧にしたが納得していただけず、野球場へ行って応援団に少しセーブしてもらおうようお願いをし、再び電話でご理解をいただくなど調整に努めた。 ・陸上競技場の放送も湿度や風向きで外部に反響するため開催ごとに音量に注意を払ったが逆にスタンドで放送が聞こえず再度調整することもあった。	B 要望苦情に対して、丁寧な対応がなされている。	無				A ・100年来の大雪と言われた今回の積雪でテニスコートの除雪開放には予想以上に時間がかかった。このため、コート状況や進捗状況など問い合わせに丁寧に説明回答し、2週間にわたって除雪に努めた。 ・大会時近隣から苦情に発生する迷惑駐車がある。特に観客には主催者を通じて交通機関による来場を呼び掛けているが、最も大きな第8駐車場から順に満車となるため、出入口に園内の臨時駐車場などをわかり易く案内し戸惑わずドライバーを少なくできる効果的な看板をデザイン制作し設置した。	A 効果的な看板が設置されたことを評価する。引き続き利用者の立場になった対応をすること。	無							
12			サービス向上・利用者増	利用者満足度調査の実施と反映 ・実施したか、実施していないとすれば、いつ、どのように実施する予定か ・データをどのように集約し分析したのか(計画しているのか) ・事業への反映は、いつ、どのように行っているのか(計画しているのか)	B 各意見への対応や分析について調整中である。	B 年度内に満足度調査の結果を反映するように努めること。	無				B 本年度調査の総回答件数は294件であり、平成24年度の総回答件数255件の39件を上回る、過去最高件数となった。実施時期は6月1日から8月31日の約3ヶ月間。理由は回答件数が最低件数に達しなかったためである。また昨年よりも約1ヶ月早めて実施している。 ・全体の満足度は平成24年度の満足度86.48%を上回る、93.54%となった。 ・特に設問「施設や整備の清潔さや手入れ具合」は89.8	B 運動施設の利用に関して満足度調査に寄せられた意見を反映して、陸上競技場冬期ナイター延長とテニスコート修繕の前倒しが実施された。利用者から頂いた調査の結果・分析を公表する方法を検討すること。	無							
13			サービス向上・利用者増	地域や公園アプト団体との連携や協働 ・アプト団体との協働事業や支援活動をどのように推進しているのか。工夫はみられるか、内容は充実しているか ・地域やボランティアとの関係はどのような手段、方法で連携を図っているか、またその成果は。	A ・美化委員会は週1の花壇管理と月例ミーティング、また11/15にはハンジー・ノースポールなど春花壇への補替。 ・南大沢学園には草刈や清掃の実習場として園内の一部を提供し利用者に支援にならない時間や場所を調整実施。また学園の軟式野球部には今期ティーボール教室のサポートをお願いし市民との交流を図った。 ・ターゲットハードゴルフ協会は多目的広場の清掃や草取りなどを実施。南大沢学園の草刈のある場合は集草作業を連携して行うため、団体間の調整を図った。 ・11/24上柚木青少年対どんと焼き実行委員会に参画。12/22には竹の間伐切り出しを実施。 12/4発生したらく書き対応では地域連携により南大沢警察及び母の会と一致協力し12/16らく書き落としを実施。	A 引き続き適正に管理すること。	無			B ・美化委員会は週1の作業で花柄摘みや落葉清掃を実施。また月例ミーティングでは春からの年間計画を話し合った。 ・南大沢学園は野球場が休場中であるが清掃実習は継続した。またエコロジーグループは冬の草の除草や雪かきにも賛同し作業を行っていった。 ・ターゲットハードゴルフ協会は多目的広場の清掃を実施。 ・管理者が上柚木青少年対委員としてどんと焼きに参画。園内の竹の間伐材を提供し当日の運営にも参加した。 ・管理者が地元小学校及び中学校の学校評議員が開催され、地域の一員として子供たちの成長環境を守るため活発な意見交換を行った。	A 適正に管理された。	無								
14			サービス向上・利用者増	自主事業の取り組み ・森林インストラクター ・地域伝統芸能 ・樹木オリエnteering ・花壇制作 ・長期連続事業 ・指導者養成事業 ・障害者対象事業 ・継続事業 ・地域協働型スポーツ教室 ・実業団陸上競技部との協働 ・障害者を対象としたスポーツ教室	A ・自然観察教室「紅葉と木の実を楽しむ」では新たな試みとして日本工学院八王子専門学校造園コース学生のサポート参加者が実現でき、学生の社会人基礎力向上への寄与、及び学生と市民との交流を図る目的も加わった。 ・ミニ門松教室は定員を大幅に超えたため未経験者を優先して実施。自然を取り込みキノコをつくる楽しさを提供した。 その他、ターゲットハードゴルフ競技会・リンパウォーキング教室・ティーボール教室・フライングディスクゴルフ教室・ジュニアジョギングスクールを実施した。 ・関東大学ラグビー公式戦では地元の帝京・中央・拓殖大学のカードを誘致し、これをPRし、市民が観て楽しみ、上柚木を利用していただける機会を提供した。	A 多種多様な自主事業を実施しており、評価する。	無			A 主な開催事業 ・ディスク&トックススクールは12月に引き続き1月のみ、飼い主の健康増進とともに飼い主のマナー向上を2次的な目的として実施した。 ・ジュニアランニング教室は小中高生対象に地元法政大学陸上部副監督及び学生選手による短距離を中心とした指導、ジョギング教室はニューイヤーマーチ伝達部のコミカミルタ陸上競技部の監督・コーチ・選手総勢18名による長距離の指導を行った。 ・年間を通じて取り組んだジュニアジョギングスクールは雨天中止を除く27回実施。コミカミルタ陸上競技部の監督・コーチ及びJRチームコーチが毎回直接指導を行った。 ・上柚木公園の冬芽を楽しむは47名と多数の応募をいただいたが2月の大雪で散策が不能のため中止とした。	A 多種多様な自主事業を実施しており、評価する。	無								
15			安全安心・危機管理	植栽地、樹林地等の管理 ・立ち枯れ、枝折れの危険や外観を損なうような樹木、枝は放置していないか ・中高木の管理は適正に管理できているか	A 10/3～枯損木の処理した場合についてボカボカ足湯のバイオ燃料として活用できるよう環境政策課と調整を進めた。 10/16台風通過後、園内の枝折れ処理巡回を実施。朝倒れていなかったサクラの太枝が折れて道路側に倒れているとの通報に即時処理対応した。10/22太枝の切り戻しを行い切口に保護剤を塗布した。 10/21松枯れの伐採処分を実施。 12/8上柚木児童遊園遊具周辺の見通しをよくするため支障枝の剪定を実施。 12/18郷戸池周辺に竹林からはみ出して成長した竹を整理伐採した。	B 竹林の管理が一部実施された。今後は、竹林全体の管理方針等について検討すること。	有	現状より竹林が拡大しないよう管理する。なお竹のエリアと雑木林のエリアをより明確にしたいと考えている。			A ・2月8日及び14日の大雪で中木のコニファー類に枝折れが発生したが即時対処した。また、高木の枝折れも順次回収し園内処理を行った。 ・3月園内の見通しの悪い高木の枝を剪定し安全に配慮した。 ・郷戸地区のクワの老木について1月に樹木医を招聘し診断を行ったが長い延命は困難との報告があり、3月に倒木防止の八掛け支柱及び囲いのロープ柵を設置した。	B 植栽の管理が適正に実施された。	無							

施設名:上柚木公園

評価区分 A:目標や計画を上回る成果があったもの B:目標や計画どおりの成果があったもの C:目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

NO.	期末モニタリング項目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	所管課年間評価		MEMO
					評価区分	コメント	
1			安全安心・危機管理	個人情報の保護管理 ・有料運動施設の利用者の情報管理は、適切に行われているか ・要望苦情者の記録保存は適正か	B	組織として定められた規則に則した管理が、年間を通じて適正に行われている。	
2			安全安心・危機管理	遊具の点検 ・年1回の専門点検は行ったのか。まだ行っていないとすれば、いつ、どのよう計画し、事務を進めているのか ・日常の点検はマニュアルなどを作成して実施しているか ・日常点検に関して、全体として計画した体制が確保できているか ・点検の結果を迅速かつ適切に集約しているか ・点検の結果、改善や修繕を要するもの対応は、迅速・適切か	B	年1回の専門点検とは別に、日常点検として目視・触診・揺らし等による点検をおおよそ毎月実施している。また、巡回目視点検を毎日実施している。	
3			安全安心・危機管理	トイレの管理 ・計画通りに実施されているか。きれいに清掃できているか ・いたずら書きや不正使用などに対する対応は迅速・適切か ・詰り等で、使用不可になった場合の対応と、使用可能に至るまでの経緯及び、要する時間	B	清掃回数が多いなど、年間を通して高い意識で管理された。	
4			安全安心・危機管理	運動施設管理 ・施設の実態と課題を的確に把握しているか ・課題を集約して事業運営に生かしているか ・緊急な課題は市にその都度協議しているか ・野球場外野の草刈、内野・外野の不陸整正は実施しているか ・野球場のポイント設置及びベースの取替は実施しているか	A	施設全体に目を配り管理している。引き続き、適切に管理すること。	
5			安全安心・危機管理	施設修繕 ・市の指示事項に沿った事務処理が行われているか ・緊急性や重要度を考慮して実施しているか ・効率的な執行がなされているか	B	昨年度からの継続案件を含め適正な管理であった。	
6			効果効率的な施設の管理運営	人員配置・研修体制 ・事業運営を計画に沿った体制で実施しているか。計画通りの人員スタッフが確保されているか ・計画通りでないとすれば、市と事前の協議はしているのか ・執行体制に工夫はみられるか ・スタッフ研修は充実しているか	B	年度当初に管理責任者が変更となっているが、適切な執行体制で支障なく業務が遂行された。様々な内容の研修が実施されていた。	
7			安全安心・危機管理	園路広場の草刈り(緑地を含む) ・延べ作業面積・回数はクリアできているか ・利用実態に合った維持管理ができているか ・作業方法に工夫はみられるか ・現地の実態はきれいか(任意抽出)	A	年間を通して園路広場の状況は良好であった。	
8			効果効率的な施設の管理運営	第三者委託 ・市との事前の協議など、協定書通りの執行がなされているか ・第三者委託の事業水準は適正か ・経費削減の取り組みや工夫はみられるか	A	市との協議及び業務執行が適切に実施された。	
9			環境配慮	どのような公園資源有効活用事業を行っているか	B	資源有効活用について様々な工夫がなされた。	
10			環境配慮	LAS-EIに沿った事業運営が行われているか	A	LAS-EIに沿った様々な工夫が行われた。今後は、それらをまとめた独自のマニュアルを作成するなど、継続的な取り組みとするための工夫を検討すること。	

No.	期末モニタリング項目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容・指標と成果の目録	所管課年間評価		MEMO
					評価区分	コメント	
11			サービス向上・利用者増	要望苦情の処理 ・件数や傾向の推移＝年度別、時期毎 ・特に多い要望や苦情に対して、適切な対応を工夫しているのか ・特に要望や苦情が多い公園の対応は適切か ・迅速性・公正公平性が確保され、適切に処理されているか ・個人情報の扱いは適切か	B	年間を通じて要望苦情に対して丁寧な対応がなされ苦情件数の減少につながっている。	
12			サービス向上・利用者増	利用者満足度調査の実施と反映 ・実施したか。実施していないとすれば、いつ、どのように実施する予定か ・データをどのように集約し分析したのか(計画しているのか) ・事業への反映は、いつ、どのように行っているのか(計画しているのか)	B	運動施設の利用者だけでなく、一般の公園利用者からの意見を広く収集するような工夫が望まれる。	
13			サービス向上・利用者増	地域や公園アドプト団体との連携や協働 ・アドプト団体との協働事業や支援活動をどのように推進しているのか。工夫はみられるか。内容は充実しているか ・地域やボランティアとの関係はどのような手段、方法で連携を図っているか、またその成果は。	A	地域やアドプト団体と、きめ細かい対応による良好な関係が構築されている。	
14			サービス向上・利用者増	自主事業の取り組み ・森林インストラクター ・地域伝統芸能 ・樹木オリエンテーリング ・花壇制作 ・長期連続事業 ・指導者養成事業 ・障害者対象事業 ・継続事業 ・地域協働型スポーツ教室 ・実業団陸上競技部との協働 ・障害者を対象としたスポーツ教室	A	多種多様な自主事業を実施しており、評価する。	
15			安全安心・危機管理	植栽地、樹林地等の管理 ・立ち枯れ、枝折れの危険や外観を損なうような樹木、枝は放置していないか ・中高木の管理は適正に管理できているか	B	前年までと比べ植栽の病気や枯れに対する管理が適切に実施されるようになったが、樹林地や竹林の管理については課題が残る。	